

# 全日本アマボクシング

# 34歳青陽 初の大舞台

ボクシング歴5年の青陽昭彦(せいよう) (広島県府中町) が16、20日に岐阜県である全日本アマチュア選手権に初めて出場する。公式戦の出場年齢制限いっぱい、34歳でつかんだラストチャンス。集大成としてウェルター級の日本ランキング(10位以内)入りを目指す。

(小山頭、写真も)

身長166センチ、体重69キログラム。170センチ後半、180センチ台の選手がひしめく階級では小柄だ。左右のボディーアッパーが得意。懐に潜り込み、ボディーブローを繰り返しながらチャンスをつかがう。29歳の時、友人と「どっちが強いかわかるか」を話した。2008年に初めて出た全日本社会人選手権で1回戦負け。4年連続4回目の出場となる。

## ランク入り

## 最後の挑戦

「グで決着をつけよう」とジムの門をたたいた。平日は建設会社での勤務の後、広島県海田町のNPO法人グロービーで1時間半、汗を流す。

2008年に初めて出た全日本社会人選手権で1回戦負け。4年連続4回目の出場となる。

初挑戦の全日本選手権にはロンドン五輪代表選手も出場。34歳の「高齢選手」が出るのは珍しいという。「正直、続けたいがこれで最後という緊張感を持って。一つでも多く勝って今年のランキングに入りたい」と意気込む。



「日本ランキングに入る成績を残したい」と最後の全国大会に挑む青陽